

# 林いさお通信



Together !!

共に!!

ブログ : <http://pikaichino.exblog.jp/> Tel 049-259-2228  
討議資料 No. 63 韓国廃棄物事情 22年7月26日号林いさお後援会



韓国の廃棄物事情について聞き入る参加者

7月17日、西東京市で韓国における生ごみ資源化の現状についての講演会が開催されました。韓国では、生ごみを90%以上資源化、ソウルでは100%に近いとのこと。大変興味深い講演でした。

## 韓国では生ごみを90%資源化

講師は、地方自治総合研究所の鄭特別研究員。日本では、生ごみは90%以上を燃やし、世界の2/3の約1400箇所の焼却炉を保有しています。生ごみは、90%が水なので、焼却炉で水を燃やしているというが実態です。

韓国では、その生ごみを90%以上資源化、ソウルでは100%に近いそうです。以前は、ごみは燃やさず埋め立てていました。しかし、埋め立て地がなくなり、環境問題への住民運動も高まったことにより、国は埋め立て禁止法を立法化。焼却炉建設より、生ごみの資源化のための施設建設の方が、20年、50年先の将来を考えるとコスト的にも

講究所は、地方自治総合研究所の鄭特別研究員。日本では、生ごみは90%以上を燃やし、世界の2/3の約1400箇所の焼却炉を保有しています。生ごみは、90%が水なので、焼却炉で水を燃やしているというが実態です。

韓国では、その生ごみを90%以上資源化、ソウルでは100%に近いそうです。以前は、ごみは燃やさず埋め立てていました。しかし、埋め立て地がなくなり、環境問題への住民運動も高まったことにより、国は埋め立て禁止法を立法化。焼却炉建設より、生ごみの資源化のための施設建設の方が、20年、50年先の将来を考えるとコスト的にも

経済的だという判断もあります。そして、分別収集をきちんと進めなければ厳しい罰金等も法制化されています。ただし、資源化された飼料・堆肥の利用状況と方法に若干課題があるように思います。

ごみは、大きく3つに分けられます。「生ごみ」「プラスチックごみ(廃プラ)」「紙ごみ」。プラスチックをリサイクルし、紙ごみなども分別資源化すれば、市町村の焼却炉で燃やす大半は、生ごみになります。その生ごみを堆肥化などに資源活用し大地に戻し、有機生産物を得る循環型社会を作っていければ、大きな焼却炉は必要なくなるのでは



ふじみ野市消防団の操法の展示

★ふじみ野市消防団県大会出場

ふじみ野市消防団が、8月7日、埼玉県消防学校において開催される、第26回埼玉県消防操法大会に、入間東部支部(ふじみ野市、富士見市、三芳町)の代表として出場します。

中、連日訓練を重ねていきます。7月24日には、出場隊による消防操法の展示が行われ、激励会が開催されました。

6年前には、三芳町消防団が出場し、準優勝することができました。当時の団長として、多くの皆様の暖かいご支援を今でも忘れることができません。

是非とも私達の悲願であった「優勝」をしてほしいと心から願っています。

大会は、鴻巣の埼玉県消防学校で8月7日開催されます。

がんばれ!ふじみ野市消防団!

★明日をひらく言葉

心だに

誠の道にかなひなば  
祈らずとも  
神や守らん

菅原道真の歌。心さえやましくなければ、ことさら神に祈らなくても、自然に神の加護があるであろうという意味。道真は【天神様】として庶民に親しまれ、現代では学問の神とされています。詩文にも優れた人物で、5歳で和歌を詠み、11歳で詩を書き、白楽天の再来と称えられました。その後、朝廷に仕え、右大臣右大将という高位まで上がりましたが、藤原時平一派の讒言(ざんげん)によって太宰府に左遷されました。道真の太宰府での生活は苦しく、病魔に冒され59歳をもって没しました。